

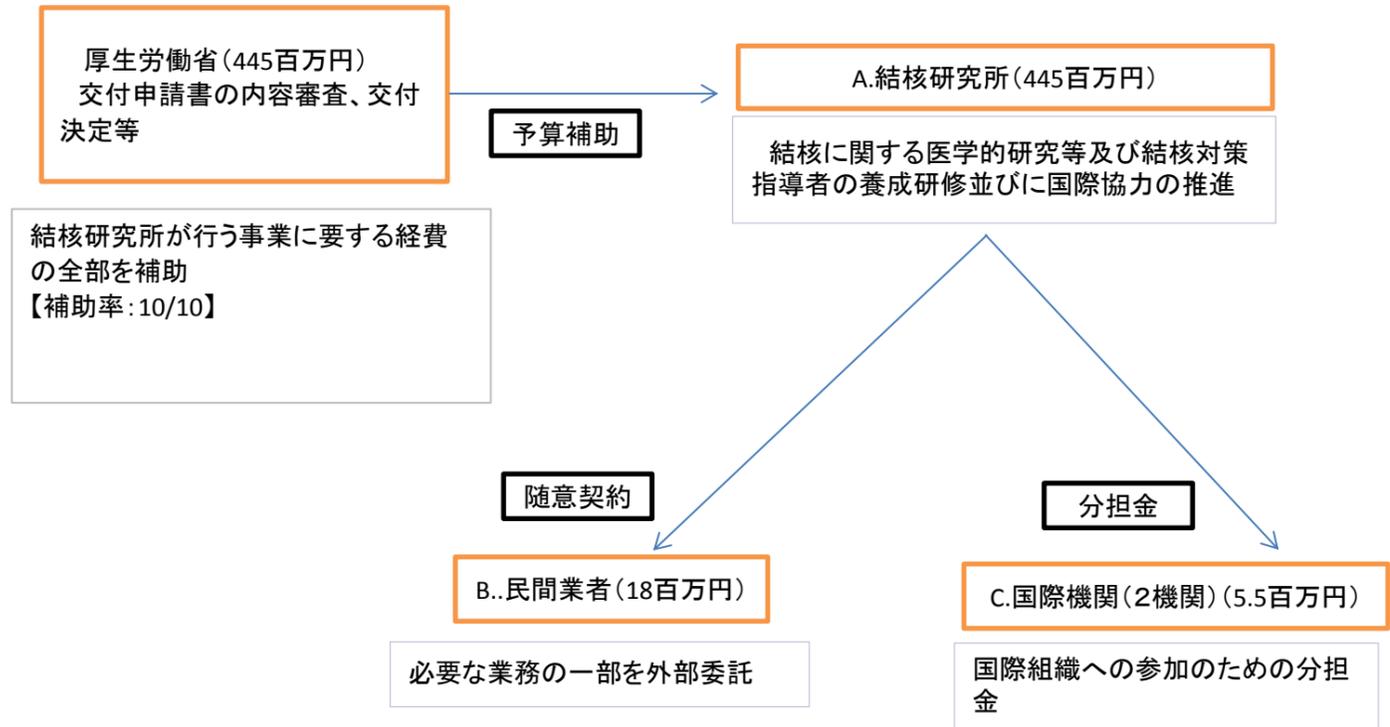
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	結核研究所補助	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和14年	担当課室	結核感染症課	結核感染症課 正林 督章			
会計区分	一般会計	政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	公益財団法人結核予防会結核研究所が行う結核に関する医学的研究等及び結核対策指導者の養成研修並びに国際協力の推進に要する経費を補助することにより、結核予防事業の向上を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①結核研究所補助金:結核研究所の person 費、結核研究所運営事業費(光熱水料、施設管理の業務委託等)及び研究費(結核対策のための研究(基礎、臨床、疫学等))集・分析)等。 ②政府開発援助結核研究所補助金:国際協力に関わる日本人の派遣専門家研修事業、現地で活動する結核国際移動セミナー事業等。 【補助率】10/10						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	473	473	445	417	417
		補正予算					
		繰越し等					
		計	473	473	445	417	417
		執行額	473	473	445		
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	医学的研究や研修事業等によって結核予防事業の向上を図る。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	研究事業数	活動実績 (当初見込み)		20 20	31 32	26 26	— 22
単位当たりコスト	835,077(円/研究事業)	算出根拠	補助事業のうち研究事業に係る経費を研究事業数で割った。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	結核研究所補助金	402	402				
	政府開発援助結核研究所補助金	15	15				
	計	417	417				

事業所管部局による点検					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	我が国唯一の結核専門の研究機関である結核研究所が行う結核に関する医学的研究等及び結核対策指導者の養成研修並びに国際協力の推進は重要であり、国民のニーズが高く、国費の投入をもって適切に実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	我が国唯一の結核専門の研究機関である結核研究所が行う結核に関する医学的研究等及び結核対策指導者の養成研修並びに国際協力の推進は、国の関与のもと、適切かつ迅速に実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	我が国唯一の結核専門の研究機関である結核研究所が行う結核に関する医学的研究等及び結核対策指導者の養成研修並びに国際協力の推進は重要かつ政策目的に不可欠であり、優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	我が国唯一の結核専門の研究機関である結核研究所が行う結核に関する医学的研究等及び結核対策指導者の養成研修並びに国際協力の推進をするため補助するものであり、受益者との負担関係は妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	人件費の削減等に努めており、その水準は妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	本補助金は事業実施主体へ直接補助しており、委託等についても事業を効率的に行うためのものとなっている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	我が国唯一の結核専門の研究機関である結核研究所が行う結核に関する医学的研究等及び結核対策指導者の養成研修並びに国際協力の推進をするために真に必要な費目を補助対象経費としている。		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	概ね当初見込みどおりの活動実績となっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	結核研究所は、我が国唯一の結核専門の研究機関であり、結核に関するWHO協力センターにも指定されている。H24年度においては、適切な執行のもと、26の研究事業を行うなど、結核予防事業の向上に寄与した。今後も引き続き事業の効率性を鑑み、補助を行っていく必要がある。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	結核の医学的研究や指導者養成及び国際協力の推進を図るものであるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	0135	平成23年	0115	平成24年	0090

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万  
円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.公益財団法人結核予防会結核研究所		
費目	使途	金額 (百万円)
人件費	結核研究所職員に要する経費	333
事業費	結核研究所の運営及び研究事業費等に要する経費	78
事業費	結核対策に関する国際協力体制の強化に要する経費	10.5
委託費	建物の維持管理に係る経費	18
分担金	国際機関への分担金の支出	5.5
計		445

B.鹿島建物総合建設株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)
管理費	建物の維持管理に係る経費	18
計		18

C.IUATLD(国際肺疾患予防連合)		
費目	使途	金額 (百万円)
分担金	IUATLDの運営に係る経費	5
計		5

H.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

E.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

F.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

G.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

H.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人 結核予防会結核研究所	結核に関する医学的研究等及び結核対策指導者の養成研修並びに国際協力の推進の実施	445		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鹿島建物総合建設株式会社	公益財団法人結核予防会結核研究所の建物の維持管理	18	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	IUATLD(国際肺疾患予防連合)	世界における結核予防活動や研究	5		
2	TSRU(結核サーベイランス研究機関)	世界における結核のまん延と征圧に関する疫学研究	0.5		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					